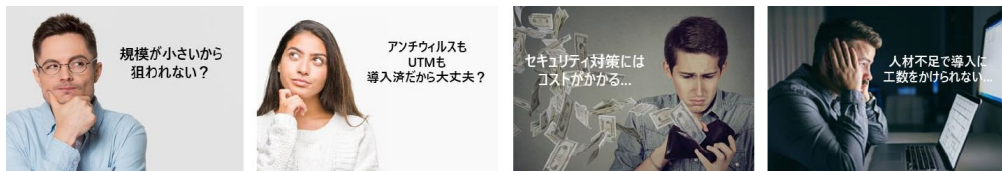


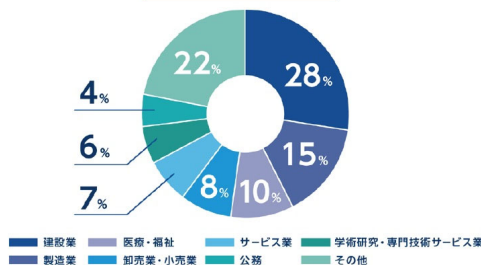
● App Guardは中小企業をサイバー攻撃から守ります！



AppGuard製品名	販売商品名称	対象企業規模	内 訳
AppGuard Enterprise	ITGあんしんセキュリティバック ク For AppGuard Enterprise	1名以上	AppGuard Enterpriseライセンス ITGクラウドセキュリティサービス(AGMSホスティングサービス) サイバーセキュリティ保険
AppGuard Small Business Edition	ITGあんしんセキュリティバック ク For Small Business Edition	1~300名	AppGuard Small Business Editionライセンス ITGクラウドセキュリティサービス(AGMSホスティングサービス) サイバーセキュリティ保険
AppGuard Server	ITGあんしんセキュリティバック ク For AppGuard Server	1名以上	AppGuard Server For Windows 2020ライセンス ITGクラウドセキュリティサービス(AGMSホスティングサービス) サイバーセキュリティ保険
AppGuard Solo	ITGあんしんセキュリティバック ク For AppGuard Solo	50名以下	AppGuard Soloライセンス サイバーセキュリティ保険

● App Guard 導入事例 ※国内2万社以上が導入済

導入社業種割合



累計導入実績(社数)



全日本空輸株式会社
宮城県白石市/地方自治体
福井県越前市/地方自治体
千葉県社会福祉協議会
SMBC日興証券
SBI証券
諏訪信用金庫(長野県岡谷市)
相澤病院
名寄市立総合病院
埼玉医科大学病院
千葉工業大学
白梅学園大学/白梅学園短期大学
特定医療法人佐藤会/弓削病院(熊本市)
NC&A(株)/ITソリューションカンパニー
PCIグループ/情報通信トータルソリューションプロバイダー
大興電子通信(株)/ICTシステムインテグレーター
(株)ファインゲート/Wi-Fi通信サービス・機械開発・製造業
べんてる株式会社
戸田建設(株)
(株)エコ配/環境配慮型格安宅配便
社会保険労務士法人出口事務所
東洋テック(株)/警備サービス業
日本テニス協会

米国防総省(ペンタゴン)
※App Guardは米国防軍の「CoN認証」を取得したセキュリティ製品で、米国防機関で長年の利用実績があります。

お問い合わせ先はこちら



正規販売代理店 **カッティングエッジ株式会社**

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-9-6

TEL / FAX : 03-6822-5613

<https://cuttingedge-tech.jp/sales@ctg-edge.jp>



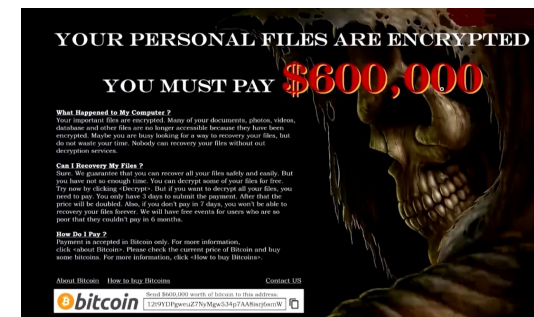
あなたは、年額¥6,000のAPPGUARD(SOLO)、それともサイバー攻撃の身代金60万ドル(約9千万円)のどちらを選びますか？
攻撃されるとその日のうちに個人/法人情報、資産が盗まれ、全てを失います。

侵入され感染しても、許可しない行為を阻止し悪さをさせない、
米国ペンタゴン向けに開発され、20年以上1度も破られた事が無い
サイバー攻撃対応セキュリティツール



サイバー保険付

身代金要求メッセージが来てしまったら、もう手遅れ



米国国防総省(ペンタゴン)で使うために開発されたAPPGUARDは、国内約2万社を突破した、アメリカ生まれ日本育ちの、パソコンやサーバーを守るエンドポイント・サイバーセキュリティ・ツールです。
政府、公共インフラ、ハイテク企業、銀行、保険会社、大学、病院、そして中小企業、個人、多くの方が導入しています。

個人や中小企業はサイバー攻撃を受けないと考えていませんか？

サイバー攻撃者は、簡単に侵入出来る個人や中小企業のパソコンから、ウイルスソフトでは検知出来ない攻撃を行い、感染と同時に大きな被害をもたらすランサムウェアや、ファイルレスマルウェアを送り込み、そこから勤務先のサーバーに侵入し、さらにサプライチェーン等の大手企業のサーバーに到達して、重要な資産を盗みます。つまり、個人や中小企業のパソコンが最も狙われ易いターゲットとなります。現在のウイルスソフトは、被害情報に基づいて、脅威を与えたウイルスだけを特定して検知/排除する方法を取っており、対策アップデートが配布される迄には約3週間掛かります。その間に攻撃者が常に先手を取るため、攻撃をくい止める事が出来ず、ウイルスソフトでは未知の攻撃に対して効果が有りません。

感染したらどうなる？

- ・端末、サーバーを乗っ取られ、機能不全となり、リモートコントロールされる
- ・感染した端末の持ち主の名前で、Word等ファイルを添付したメールを社内/社外/友人に配布させ、周りの端末を全て感染させる
- ・全員のパスワード、クレジットカード情報、銀行情報、住所等個人情報、企業秘密情報、資産情報、技術情報等が盗まれ売却される
- ・情報を暗号化し、身代金を数日以内に支払う様要求される（身代金マルウェア、ランサムウェア）
- ・データが改ざんされる
- ・データが破壊される
- ・PCのカメラとマイクから、持ち主の顔、声をコピーし、本人になりすました画像や音声を作り、電話を掛け政治、株操作、犯罪に使われる

App Guardは侵入される事を前提として、侵入した攻撃者の行動の自由を奪い、目的を達成させない事が可能なツールです。
従来型のウイルスソフトでは対応出来ない、未知のサイバー攻撃の対応が可能です。

App Guardの大きな特長と機能

1. マルウェア起動阻止機能

なりすましメールや偽サイト経由で侵入するランサムウェア等のマルウェアの起動を阻止、侵入されても発症させない、未知の脅威から端末を守ります。

2. 改ざん処理防止機能

悪用される可能性があるアプリに対して制御し不正アクセスをさせません。起動したプロセスが侵害されてもシステムへの改ざん行為を制御します。

3. プライベートフォルダ

個人情報や機密情報の格納されたフォルダをサイバー攻撃で利用されるソフトウェアからのアクセスを遮断し守ります。ランサムウェア対策に有効です。

4. ファイル更新・アップデートが不要

従来の検知型ウイルスソフトとは異なり、定義ファイルまたはパターンファイルの更新やAI/機械学習エンジンのアップデートは不要です。

5. 運用管理の簡素化とコストダウン

1度インストールするだけで、継続的にシステムの安全性を維持し、EDRやウイルス対策の運用に割いていたコスト・人的負荷を軽減させる事が可能。

6. 現在使用中のセキュリティ製品との併用が可能

App Guardは、プラスアルファのセキュリティ対策として現在使用中のウイルスソフトと併用してお使い出来ます。

App Guard導入のメリット

1. セキュリティコスト削減に貢献

トラブル発生による対応費用や、監視・調査のための体制構築のための人件費を抑えることで効果を発揮します。

2. ガバナンス強化への貢献

ユーザーがポリシー外のアプリを個別にインストールする事を制約し、信頼されたアプリケーションのみを許可する事で、組織の衛生状態を維持可能。

3. 事業継続性の維持

トラブルを未然に防ぐ事で組織の業務を維持し、取引先等サプライチェーンへの影響を回避します。

4. 脆弱性解消の時間かせぎ

修正パッチを適用する迄のぜい弱性を悪用した不正アクセスを阻止しリスクを軽減します。

5. セキュリティ事故が発生した際に、専門家を雇う事が難しい中小企業でも安心。

6. サイバー保険付

損害賠償、事故対応特別費用が1ライセンス当たり1,000万円まで補償。

短時間でApp Guardを理解する事が可能な動画を
下記QRコードから閲覧する事が出来ます



米国政府関連での導入実績

● APPGUARDの主な特徴

- ✓ 未知のマルウェア実行防止
- ✓ ランサムウェア実行防止
- ✓ ドライブバイダウンロード実行防止
- ✓ ファイルレスマルウェア実行防止
- ✓ マルウェアによる機密情報漏洩の防止
- ✓ OS改ざん防止

AppGuardはマルウェアを発症させない
(攻撃者が送り込む悪性の実行ファイルを起動制御)

起動できない

AppGuardは端末を乗っ取らせない
(悪用しやすいアプリケーションを通じた改竄行為を防止)

改竄できない

スペースルール

改竄処理の防止

	アンチウイルス	AppGuard	アンチウイルス (Protection)	AppGuard (Prevention)
役割	悪いヤツを見つける	悪いことをさせない		
マルウェアの検知	○	×	アンチウイルスは過去の情報に基づいて定義された「悪いモノ」を見つけ駆除する。「悪いかわからないモノ」「悪くないモノ」にはアプローチできない。	AppGuardは実行主体に関係なくシステムに対して害を与える不正な行為を制御して無効化します。つまり、端末上で「悪いコト」を実行できない状態を作り出す。
マルウェアの削除	○	×		
マルウェアの生成阻止	×	○		
マルウェアの起動阻止	×	○		
端末乗っ取り	△	○		

AppGuardをインストールすることで実現する環境

怪しい広告をクリックしても

不正アクセスは成立しない

騙されて怪しいアプリを実行しても

不正プログラムは実行不可

本文の怪しいURLをクリックしても

不正プログラムは実行不可

怪しい添付ファイルを実行しても

不正プログラムは実行不可

添付ファイルのマクロを有効化しても

不正アクセスは成立しない

マルウェア入りUSBメモリを挿しても

不正プログラムは実行不可